



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

# 木佐木 ただまさ

**日本共産党** 見解を紹介します

いのちとくらし  
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

## 給付金 大手広告代理店等の「食べ物」に!?

# 政治は野放しにするな

新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減った中小企業、個人事業主への持続化給付金の事務手続きを請け負った、「一般社団法人サービスデザイン推進協議会」が大手広告代理店の電通とその子会社を通じていくつもの会社に、再委託と外注を重ねる構図が浮き彫りになっています。

サービスデザイン推進協議会は電通やパソナなどで構成される団体で、経産省から委託された業務の委託費で97%に上る事業を再委託していました。いわゆる「丸投げ」「中抜き」です。

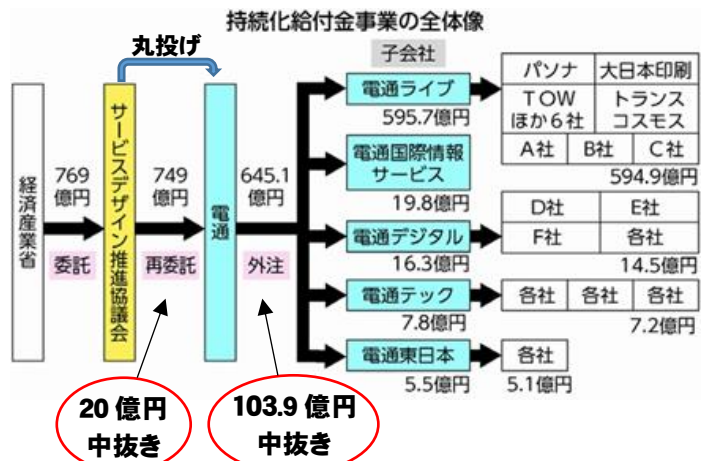
### 発注者も把握していない委託 横行

財務相は「公共調達適正化について」という通知で、全部再委託を禁止しています。業務の一部を再委託する場合も合理的理由と「再委託される業務を履行する能力」がなければ認められないと定めています。再委託を行う業務の範囲と必要性、契約金額について記載した書面を契約相手に提出させ、各省庁が審査を経て承認するよう求めています。

それにも関わらず、今回の件は経産省が再委託・外注の全容を把握しないまま事業が進められていたことが国会質疑の中で明らかになりました。

### 繰り返される委託で遅れる給付 6/10時点で1万件以上が未払い

持続化給付金の支給状況については10日時点で、受け付けを開始した5月1日と2日に申請された約28万7000件の約3.5%にあたる1万件以上が未払いになっています。



サービスデザイン推進協議会は国に提出した実施計画書で、申請の受け付けから給付金の振り込みまで「目標を12日間」としていますが、計画から大幅に遅れており、業務の再委託・外注先が機能していません。

### 税金を食べ物にする構図 野放しする政治は許さない

野党合同ヒアリングの中では、繰り返される再委託や外注は8次下請けまで行われていると指摘される事態になっています。日々資金繰りに奔走する事業者にとって、持続化給付金には「生き死に」がかかっていると思います。こうしたことが繰り返されていけば時間がかかり、責任の所在もあいまいになっていきます。

税金を食べ物にする構図を許す政治では、国民の命と暮らしを守ることはできません。政治を国民の手に取り戻すために皆さんと力合わせます。